



自由と創造（上から時計回りに）陶芸家として成功した岡田加里。東京にも外出したことになるほど楽しい「地下都市」、伝統的な建築物の魅力が残る街並み、地元のギャラリーで旅行日記を展示了した青木義乃



化が見事に融合し、北美にいながら、カナダの文化を見出すする「フランス語が飛び交う」。耳を澄ませば、もっと新しい移民の言葉も聞こえてくる。

「（ここでは）あらゆる言葉が使われていって、異文化にも寛容だ」と、大阪出身の風景画家、横山雄二（50）は言う。「だから安心して芸術集中できました」。

「日本語なのに、みんな興味をもつてくれる」と、青木は言う。 「おかげで創造的なことを試す自由

リオールに来るまでは、スケッチブックを他人に見せたことがないが、プラット地区から西に向かえば、マギル大学の学生が英語を話している東に向かって、カナダラチを注文する「フランス語が飛び交う」。

28歳のグラフィックデザイナー、青木義乃には、その気持ちがよくわかる。芸術の勉強のためモントリオールに来たが、古

い街。心を開き、創造的に考える自由を手に入れられる」と、問は言つぱを作ったのは、9年前のことだ。「勤め先の製鋼所で、ろくろとががあたたら試してみた。長い一日が終わつた後で、くろを回す」と、心が安らいだ。



モントリオール [カナダ]

「北米のパリ」は芸術家にやさしい

最先端アートの中心地は多文化がキーワード

岡由加里（38）が初めて陶器の自由を作ったのは、9年前のことだ。「勤め先の製鋼所で、ろくろとががあたたら試してみた。長い日が終わった後で、くろを回す」と、心が安らいだ。

それでも故郷の岡山県井原市にいたころは、陶芸はただの趣味でしかなかった。その意味合いが変わったのは、97年、カナダに移住してからだ。

カナダに来たのは、通訳になりたかったから」と、岡は言う。でも陶芸の講座に通うことを見られて、すべてが変わった

彼女に陶芸を教えることを勧めたのが、今夫である画家のフリップ・アーティストである。2人は結婚しなかった。その後、カナダ東部のニューブランズウッド州に住んだ。そこで彼女は陶芸の腕を上げていったが、じきに夫婦はもうどりベラルでダイミックなアートの街に住みたいと思うようになった。

それが、ケベック州のモントリオールだった。「モントリオールはアーティストにとって素晴らしい街で、それが最もよく表れているのが、蒙特利爾タウンの北にあるプラトード・モン・ロワイアル地区。あらゆるエスニック文化が混在し、最先进的アートのギャラリーが並ぶ。蒙特利爾タウンは、そんなアバングニャルドな場所に吸い寄せられてくる。アーティストが集まる街でも、街なかのトレンドマイヤーが並ぶ。蒙特利オールは、カナダで2番目に移民が多い都市だ。最も多くのトロント」。若い外国人アーティストが次々にやって来るため、アートシーンはさまざまな文化が混じり合い、活気にあふれている。

それが最もよく表されているのが、セントローレンス川の中州であるモントリオールは、フランス語圏としてはパリに次ぐ世界第二の都市だ。フランスとイギリスの文化が埋め合せられた街でもある。国際花火大会からロック音楽祭まで、年に4回以上の祭りが行われる。横山に言わせると、これは「冬のひどい天気の埋め合わせ」だ。

確かにモントリオールの冬は厳しく。寒さを避けるため、地下には全長約30キロの歩道が造られている。この「地下都市」にはショッピングモールやアーティストの仕事場では、フランス系とイギリス系カナダ人、スウェーデン人が共に働いている。問が最近、凝つている太鼓を練習するときも、中国や中東出身の人たちと一緒に、中国人と一緒に見事に演奏している。そんな彼女は、この街に見事に溶け込んでいる。

MONTREAL



人口 181万人(1120人)

気候 夏は過ごしやすいが、1月は氷点下15度程度まで冷え込む。冬には陶芸家として成功した岡由加里が、陶芸の講座に通うことを見られて、すべてが変わった。彼女は陶芸を教えることを勧めたのが、今夫である画家のフリップ・アーティストである。2人は結婚しなかった。その後、カナダ東部のニューブランズウッド州に住んだ。そこで彼女は陶芸の腕を上げていったが、じきに夫婦はもうどりベラルでダイミックなアートの街に住みたいと思うようになった。

それが、ケベック州のモントリオールだった。「モントリオールはアーティストにとって素晴らしい街で、それが最もよく表れているのが、蒙特利爾タウンの北にあるプラトード・モン・ロワイアル地区。あらゆるエスニック文化が混在し、最先端アートのギャラリーが並ぶ。蒙特利爾タウンは、そんなアバングニャルドな場所に吸い寄せられてくる。アーティストが集まる街でも、街なかのトレンドマイヤーが並ぶ。蒙特利オールは、カナダで2番目に移民が多い都市だ。ジャズバーやギャラリーが多く、外国人アーティストの作品を展示しているところでも楽ししく過ごせる

文化 フランス語圏だけに、フランス料理店が多い。パン屋やカフェもたくさんある。特徴 カナダで2番目に移民が多い都市。ジャズバーやギャラリーが多く、外国人アーティストの作品を展示しているところでも楽ししく過ごせる